

令和2年度

入学者選拔要項



令和元年7月

宮崎県立看護大学

教育理念・目的

生命の尊厳を基盤とした豊かな人間性を育成し、かつ深く高度な専門知識・技術を修得させることにより、看護の果たすべき役割を追究し、社会の幅広い分野において、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材を育成するとともに、看護学及び関連する学問領域の発展に寄与することを教育の目的としています。

教育目標

- 1 人間に対する深い理解と倫理観を培い、人々の喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる豊かな感性と自己のもてる力を差し出せる温かい心を伸ばします。
- 2 人間を取り巻く自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考できる能力と、社会情勢の変化や科学技術の発達に主体的・創造的に対応できる能力を育みます。
- 3 さまざまな健康状態の人々と関わることのできる基本的専門知識・技術を修得して個別な看護ニーズを見いだし、科学的根拠に基づいて対応できる実践的問題解決能力を育みます。
- 4 自己の専門職に対する誇りと責任感をもち、看護の果たすべき役割を追究し、保健・医療・福祉等関連領域の人々と連携できる学際的調整能力を育みます。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

本学は、教育理念・目的にもとづき、次のような資質を持った学生を求めています。

求める学生像

- 1 健康と生活に関心を持ち、自立した日常生活力を身につけようとしている人
- 2 他者の言葉に耳を傾け、自分の言葉で自分の思いや考えを論理的に表現できる人
- 3 まわりの人に感謝し、自分を信じ人を信じ、みんなで伸びていこうとする人
- 4 未知への好奇心と新しいことを受け入れて変化できる柔軟性をもつ人
- 5 大学で学ぶために必要な基礎学力を有し、主体的に学ぶ姿勢をもつ人

I 募集人員

学 部 学 科	入 学 定 員	募 集 人 員					
		一般入試		特別入試			
		前期日程	後期日程	一般推薦入試		地域 推薦 入試	社会人入試
				県内	県外		
看護学部 看護学科	100名	50名	10名	30名	2名	6名	2名

II 一般入試

1 出願資格

令和2年度大学入試センター試験のうち、本学の指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者

注) 上記(3)の「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者」に該当する者は、次のとおりです。

- ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- エ 文部科学大臣の指定した者
- オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者（あらかじめ本学が行う入学資格審査により、入学資格の認定を受けることが必要。8ページ「IV 個別入学資格審査」参照。）

2 入学者選抜方法

大学入試センター試験、個別学力検査等（前期日程、後期日程とも小論文及び面接）の成績及び調査書でアドミッション・ポリシーの視点から総合判定します。

小論文では、日本語による読解力、思考力および表現力を評価します。

面接では、看護職者としての適性並びに入学後の学習適性について評価します。

3 試験科目等（前期日程・後期日程共通）

(1) 大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目

（5教科6科目又は5教科7科目）

教科	科目	備考
国語 【1科目】	「国語」	
地理歴史 / 公民 【1科目】	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目	左記の科目から2科目受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に利用
数学 【2科目】	「数学Ⅰ・数学A」（必須） 「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」から1科目選択	
理科 【2科目】 又は 【1科目】	ア:「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目選択 又は イ:「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目選択	1)左記アに記載された科目を2科目受験した場合はその合計得点を1科目分として合否判定に利用 2)左記イに記載された科目を2科目受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に利用 3)左記アに記載された2科目と左記イに記載された1科目の両方を受験した場合、高得点のいずれかを合否判定に利用
外国語 【1科目】	「英語（リスニングテストを含む。）」	

(2) 個別学力検査等

試験科目は小論文と面接とし、小論文の試験時間は90分とします。

4 実施日程

出願期間	選抜期日		合格発表
令和2年1月27日(月) ~2月5日(水)	前期日程	令和2年2月25日(火)	令和2年3月5日(木)
	後期日程	令和2年3月12日(木)	令和2年3月20日(金)

5 学力検査等の配点

日 程	試験区分	国語	地理歴史 / 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接 ※	合計
前期日程	大学入試センター試験	200	100	200	100	200 注1	—	—	800
	個別試験	—	—	—	—	—	200	○	200
	計	200	100	200	100	200	200		1,000
後期日程	大学入試センター試験	200	100	200	150 注2	300 注3	—	—	950
	個別試験	—	—	—	—	—	300	○	300
	計	200	100	200	150	300	300		1,250

※「面接」については、総合判定資料として合否判定に用いる。

注1 前期日程の外国語（英語）については、リスニングテストを含む総点250点を200점에換算して利用します。

注2 後期日程の理科については、大学入試センター試験の配点100点を150점에換算して利用します。

注3 後期日程の外国語（英語）については、リスニングテストを含む総点250点を300점에換算して利用します。

6 その他

入学手続き者が入学定員に満たない場合の欠員補充の方法は、追加合格によります。

Ⅲ 特別入試

1 一般推薦入試

1) 出願資格

次のすべてに該当し、高等学校長又は中等教育学校長が責任を持って推薦できる者
とします。なお、県外については各校1名とします。

(1) 県内

- ア 宮崎県内の高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者
- イ 高等学校又は中等教育学校在学中の学習成績が優秀であり、調査書の全体の評
定平均値が4.0以上の者
- ウ 看護学に興味を持ち、かつ将来、看護の実践、教育の分野で活躍したいという
意欲が明らかである者
- エ 合格した場合、本学に入学することを確約できる者

(2) 県外

- ア 宮崎県外の高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者
- イ 高等学校又は中等教育学校在学中の学習成績が優秀であり、調査書の全体の評
定平均値が4.3以上の者
- ウ 看護学に興味を持ち、かつ将来、看護の実践、教育の分野で活躍したいという
意欲が明らかである者
- エ 合格した場合、本学に入学することを確約できる者

本学の建学の目的の一つに、宮崎県内における優れた看護職者の育成、確保が
あります。そのため、卒業後宮崎県内の医療機関等で働こうと考えている受験生
からの出願を強く望んでいます。

2) 入学者選抜方法

調査書、推薦書、提出課題、小論文及び面接でアドミッション・ポリシーの視点か
ら総合判定します。

小論文では、日本語による読解力、思考力及び表現力を評価します。

面接では、宮崎県の保健・医療・福祉に貢献したいという意志と看護職者としての
適性並びに入学後の学習適性について評価します。

※ 大学入試センター試験の受験は必要ありません。

3) 試験科目等

試験科目は小論文と面接とし、小論文の試験時間は90分とします。

4) 実施日程

出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
令和元年11月1日(金)～7日(木)	令和元年11月23日(土)	令和元年12月6日(金)

2 地域推薦入試

1) 出願資格

次のすべてに該当し、宮崎県内の市町村長及び高等学校長（中等教育学校長を含む。）が責任を持って推薦できる者としします。なお、各学校の各市町村への推薦は卒業生を含め最大1名としします。

- (1) 推薦市町村内に看護職者として4年以上就業する強い意志を有する者
- (2) 宮崎県内の高等学校又は中等教育学校を平成31年3月に卒業した者及び令和2年3月に卒業見込みの者
- (3) 調査書の「国語」「数学」「外国語」「理科」「地理歴史・公民」の評定平均値が4.3以上である者

※ 評定平均値の計算方法は次による。

$$\{ \text{国語} + \text{数学} + \text{外国語} + \text{理科} + (\text{地理歴史} + \text{公民}) \times 1/2 \} \times 1/5$$

指定教科毎に算出した各教科の評定平均値を科目名で表示した。

(かけ算後の数値はすべて小数点以下第2位を四捨五入)

- (4) 合格した場合、本学に必ず入学することを確約できる者

※ 各市町村からの推薦は制限を設けませんが、本学への合格者は各市町村最大1名としします。

※ 地域推薦入試の募集人員は6名であり、県北部、県央部、県西南部のブロックごとに各2名程度の合格を基本としますが、入試成績によっては、推薦しても合格者がいない市町村があるほか、ブロック内に合格者がいない場合もあります。

(注) 県 北 部：延岡市、日向市、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町

県 央 部：宮崎市、西都市、国富町、綾町、高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町

県西南部：都城市、日南市、小林市、串間市、えびの市、三股町、高原町

本学の建学の目的の一つに、宮崎県内における優れた看護職者の育成、確保があります。これを踏まえ、本学の地域推薦入試制度は、看護職者の確保に特別の対策が必要な市町村との連携のもと、「推薦を受けた地域の看護職に就き地域住民の健康を担い、将来リーダー的役割を果たすことができる優れた看護職者」の育成と確保を目指しています。

2) 令和2年度地域推薦入試参加市町村

ブロック	市町村名	担当部署	電話番号
県北部	延岡市	健康増進課健康づくり第1係	0982-22-7014
	日向市	高齢者あんしん課医療介護連携推進室	0982-52-2111
	諸塚村	住民福祉課住民福祉係	0982-65-1119
	美郷町	総務課庶務係	0982-66-3601
	高千穂町	福祉保険課社会福祉係	0982-73-1202
	日之影町	総務課人事・給与係	0982-87-3900
	五ヶ瀬町	総務課行政グループ	0982-82-1700
県中部	西都市	地域医療対策室	0983-32-1015
	国富町	保健介護課健康推進係	0985-75-3553
	綾町	総務税政課行政係	0985-77-1112
	高鍋町	健康保険課（健康づくりセンター）	0983-23-2323
	新富町	いきいき健康課保健予防係	0983-33-6059
	西米良村	国民健康保険西米良診療所	0983-36-1031
	都農町	総務課総務係	0983-25-5710
県西南部	都城市	健康課健康増進担当	0986-23-2765
	日南市	健康増進課地域医療対策室	0987-31-1129
	小林市	医療介護連携室医療介護連携グループ	0984-22-3008
	串間市	医療介護課地域医療介護連携推進室	0987-72-0333
	えびの市	健康保険課市民健康係	0984-35-1116
	三股町	町民保健課健康推進係	0986-52-8481
	高原町	ほほえみ館	0984-42-4820

高等学校又は中等教育学校は、学校推薦者を決定後、9月13日(金)までに市町村へ所定の書類を提出し、市町村からの推薦を受ける必要があります。詳細は、8月上旬頃に配布予定の学生募集要項を参照してください。

なお、市町村の推薦人数は各市町村が決定します。市町村によって、出願や推薦の基準を設けている場合がありますので、出願の前に市町村担当部署にお問い合わせください。

3) 入学者選抜方法

調査書、推薦書、提出課題、小論文及び面接でアドミッション・ポリシーの視点から総合判定します。

小論文では、日本語による読解力、思考力及び表現力を評価します。

面接では、推薦を受けた地域の保健・医療・福祉に貢献したいという意志と看護職者としての適性並びに入学後の学習適性について評価します。

※ 大学入試センター試験の受験は必要ありません。

4) 試験科目等

試験科目は小論文と面接とし、小論文の試験時間は90分とします。

5) 実施日程

出願期間	選抜期日	合格発表
令和元年11月1日(金)～7日(木)	令和元年11月23日(土)	令和元年12月6日(金)

※ 地域推薦入試出願者のうち一般推薦入試の出願資格がある者は、一般推薦入試との併願が可能です。

3 社会人入試

1) 出願資格

次のいずれかに該当し、令和2年3月31日において年齢が満23歳以上で、社会人の経験を5年以上有する者又は有する見込みの者であって、看護学に興味を持ち、かつ将来、看護の実践、教育の分野で活躍したいという意欲が明らかである者とします。

ただし、夜間、定時制、通信制以外の学校（大学、短期大学、専門学校等）に在籍していた期間は社会人としての経験年数に含みません。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者（高等学校入学以前に社会人であった年数を加算することができます。）
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者

注) 上記(3)の「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者」に該当する者は、次のとおりです。

ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

エ 文部科学大臣の指定した者

オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者（あらかじめ本学が行う入学資格審査により、入学資格の認定を受けることが必要。8 ページ「IV 個別入学資格審査」参照。ただし、令和2年3月31日において年齢が満23歳以上であること。）

2) 入学者選抜方法

調査書、推薦書、提出課題、小論文及び面接でアドミッション・ポリシーの視点から総合判定します。

小論文では、日本語による読解力、思考力及び表現力を評価します。

面接では、社会人の経験が学習や学友へよい影響をもたらすものであることや看護職者としての適性並びに入学後の学習適性について評価します。

※ 大学入試センター試験の受験は必要ありません。

3) 試験科目等

試験科目は小論文と面接とし、小論文の試験時間は90分とします。

4) 実施日程

出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
令和元年11月1日(金)～7日(木)	令和元年11月23日(土)	令和元年12月6日(金)

IV 個別入学資格審査

一般入試及び特別入試（社会人入試）において、「出願資格」(3)の「注)カ」（一般入試：1ページ、特別入試（社会人入試）：7ページ）により出願する場合は、出願前に本学において個別の入学資格審査により認定を受ける必要があります。

資格審査を希望する者は、下記の申請期間内に申請手続をしてください。なお、申請手続については、必ず事前に本学事務局総務課教務学生担当までお問い合わせください。

[申請期間]

令和元年8月19日(月)から令和元年8月23日(金)午後5時まで

ただし、大学入試センター試験出願の際、他の大学の入学資格審査を受けた者で、その後、志望大学を本学へ変更する者に限り、令和2年1月20日(月)から令和2年1月24日(金)午後5時まで申請を受け付けます。

V 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、本学に出願する以前に大学事務局総務課教務学生担当まで連絡し、事前に相談してください。

VI 学生募集要項の配布

- 1 本学の入学者選抜については、その詳細を学生募集要項により必ず確認してください。なお、学生募集要項の配布は、特別入試は8月上旬、一般入試は10月から行う予定です。
- 2 学生募集要項、大学案内の請求方法
 - (1) 大学のホームページから請求する場合（募集要項は一般入試のみ。）
大学のホームページからテレメールを利用して請求ができます。
詳しくは、本学ホームページ(<http://www.mpu.ac.jp/>)をご覧ください。
 - (2) テレメールで請求する場合（インターネット・自動音声応答電話。募集要項は一般入試のみ。）

ア インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）又は自動音声応答電話を利用してください。



インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）		自動音声応答電話	
http://telemail.jp ※パソコン・スマートフォン・携帯電話各社共通アドレスです。		I P 電話	050-8601-0101 (24時間受付)
バーコード ※対応するスマートフォン・携帯電話で読み取れます。 この場合、資料請求番号入力は不要です。			



※IP電話：一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分ごとに約12円です。

イ 資料請求番号（6桁）を入力又はプッシュしてください。

資料名	資料請求番号	料金	発送開始時期
大学案内	567902	180円	随時発送中
一般入試学生募集要項	587902	215円	10月上旬予定
一般入試学生募集要項と大学案内	548002	250円	

ウ あとはガイダンスに従って登録してください。

- * 通常、請求後1～2日程で資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては3日以上かかる場合もあります。なお、発送開始前の請求分は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。
- * 料金は、資料に同封されている料金支払用紙をご確認の上お支払いください。
- * 自動音声応答電話による請求の場合、住所、名前の登録時は、ゆっくりはっきりと話してください。登録された音声の不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

上記(1)、(2)についてのお問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター 電話 050-8601-0102(9:30～18:00)

(3) 本学へ直接請求する場合

学生募集要項の請求は、直接来学されるか、又は郵送により行ってください。郵送を希望する場合は、封筒の表に「〇〇学生募集要項請求」（一般入試か特別入試かを明記）と朱書きし、返信用封筒（角型2号封筒に返送先の住所・氏名を明記し、255円分の切手を貼付したもの。）を同封して次の募集要項請求先にお申し込みください。

Ⅶ 問い合わせ・事前相談・募集要項請求先

宮崎県立看護大学事務局総務課教務学生担当

〒880-0929 宮崎市まなび野 3 丁目 5 番地 1

電話 0985-59-7705 F A X 0985-59-7771

ホームページ <http://www.mpu.ac.jp/>

令和2年度入学選抜の実施教科・科目等について

入学選抜の区分等	募集人員	出願期間	学力検査等の日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査 科目名等	試験の 区分	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							
				教科	科目名等			国語	地理歴史 /公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点 合計
特別入試	一般推薦入試	令和元年 11月1日(金) ～ 11月7日(木)	令和元年 11月23日 (土)	大学入試センター試験は免除する		小論文 面接	個別学力 検査等					○	○		
	個別学力 検査等										○	○			
	個別学力 検査等										○	○			
一般入試	社会人入試	令和2年 1月27日(月) ～ 2月5日(水)	令和2年 2月25日 (火)	国語 ○国語 ○世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、 地理A、地理B、現代社会、倫理、 政治・経済、倫理、政治・経済 から1科目	国語	小論文 面接	センター 試験	200	100	200	100	200			800
	前期日程				50名	数学	○数学Ⅰ・数学A(必須) ○数学Ⅱ・数学Bから1科目	200						200	○
一般入試	後期日程	令和2年 3月12日 (木)	令和2年 3月12日 (木)	理科 又は ○物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学 基礎から2科目 ○物理、化学、生物、地学から1科目 ○英語(リスニングテストを含む。) [5教科6科目]又は[5教科7科目]	理科	小論文 面接	センター 試験	200	100	200	150	300			950
	10名				外国語		200						300	○	300
							計	200	100	200	100	200	300		1,000
							計	200	100	200	150	300			950
							計	200	100	200	150	300			1,250

大学入試センター試験の利用教科・科目について

- ・ 「地理歴史、公民」について、2科目を受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に利用する。
- ・ 「理科」について、基礎を付した科目から2科目を受験した場合は、その合計得点を1科目分として合否判定に利用する。
- ・ 「理科」について、基礎を付さない科目から2科目を受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に利用する。
- ・ 「理科」について、基礎を付した科目から2科目と基礎を付さない科目から1科目を受験した場合、高得点のいずれかを合否判定に利用する。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

- ・ 前期日程の外国語(英語)については、リスニングテストを含む総点250点を200点に換算して利用する。ただし、大学入試センターがリスニングテストを免除した者については、筆記試験の得点をそのまま利用する。リスニングテストを欠席した場合は、リスニングテストの得点を0点として取り扱う。
- ・ 後期日程の理科については、大学入試センターの配点100点を150点に換算して利用する。
- ・ 後期日程の外国語(英語)については、リスニングテストを含む総点250点を300点に換算して利用する。ただし、大学入試センターがリスニングテストを免除した者については、筆記試験の配点200点を300点に換算して利用する。リスニングテストを欠席した場合は、リスニングテストの得点を0点として取り扱う。

面接について

- ・ 面接については、総合判定資料として合否判定に用いる。



MIYAZAKI
PREFECTURAL
NURSING UNIVERSITY

宮崎県立看護大学

〒880-0929 宮崎市まなび野3丁目5番地1
代 表 ☎ 0985-59-7700
入試担当 ☎ 0985-59-7705
F A X 0985-59-7771
<http://www.mpu.ac.jp/>